

群馬県立前橋高等学校 学校評価一覽表 ① (平成28年度版)

(様式1)

評価対象	羅針盤		方 策	第1回点検・評価		第2回点検・評価			
	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。	学習活動及び部活動・生徒会活動等を充実し、生徒の満足度を高める。	A	A	よりきめの細かい指導を実践していく。	A	A	生徒の満足度は引き続き高い。今後も、学習や部活動、学校行事の充実に努める。
	2 生徒が自主的に活発な活動をしていますか。	① 部活動に95%以上の生徒が加入している。また、県総体総合5位以上及び関東大会以上に出場の部活動5つ以上を目指す。	文武両道の観点から充実感に満ちた高校生活に導くと共に、部活動への真摯な取り組みと上位進出を促す。	A	A	部活動加入率は109%であり、活発に活動し、高校総体では総合2位、関東以上は運動部・文化部計11部が出場した。	A	A	部活動加入率・大会成績はともに良好であった。部活動が学校生活を充実させ、学習との相乗効果を上げられるよう意識する。県総体では総合優勝を目指す。
		② 定期戦をはじめとした学校行事の内容の充実を図り、意欲的に取り組めた生徒が80%以上である。	行事等の活動に対して、生徒自身の自主的自律的な活動を促し、達成感や存在感が感じられるようにする。	A	A	3年生を中心とした実行委員会が主体的に行動し学校全体をリードした。	A	A	各行事への取り組みを通して全生徒の人的成長を図る。生徒各自がやりがいを感じて誇り高い学校生活を送れるようにする。
		③ 学校図書館の貸出冊数が6,000冊を超えている。	国語科をはじめ各教科と協力し、貸出冊数の増加を目指す。	A	A	「朔太郎」の発行や図書委員による情報発信を強化する。	B		昨年度より1割程度貸し出し数が減少している。読書の大切さを更に訴えていきたい。
II 生徒の意欲的な学習活動について、適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 65分を有効に活用し、授業に80%以上の生徒が満足している。	公開授業や教科会議を活性化させ、授業がより充実した双方向的な内容となるよう改善を図る。また、生徒の進路希望や適性に応じたクラス編成や授業展開を行う。	A	A	今後とも授業の工夫・改善を進めていく。	A	A	生徒の満足度は引き続き高い。しかし、生徒の学力の多様化に合わせた指導が求められており、今後も指導形態等を工夫し、改善を図っていく。
	4 生徒は確かな学力を身につけていますか。	① 生徒が主体的に授業に取り組めるような授業改善のための研修会を各学年で年に2回以上実施している。	学力向上推進委員会を中心に計画を立て、研究授業、授業研究を実施する。	B	B	職員全体での研修会を実施。今後も各教科での授業改善研修を実施していく。	A		職員全体での研修会を1回実施。また、各教科で授業研修を行った。今後も、授業改善の取り組みを進めたい。
	5 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	① 平均家庭学習時間を1・2年で3.0時間、3年で4.5時間以上確保して、予習と復習に努めている。	オリエンテーション等で家庭学習の大切さの理解を徹底させ、授業と家庭学習が一体となった学習活動を展開する。	C	B	特に1・2年生の学習時間を確保したい。朝学習や自習室の活用を促したい。	B	B	12月の調査では、1年生が1日平均2.9時間、2年生が2.7時間であった。11月の3年生は5.6時間であった。1・2年生に自学を促したい。
III 生徒の充実した学校生活について、適切な指導をしていますか。	6 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 学年会議・生徒指導部会議・教育相談係会議において、月に2回以上の生徒に関する情報交換を行っている。	学年と生徒指導部とが密接に連携して、特活部等からの情報も共有しながら、生徒の理解を深め、早期の対応を図る。	A	A	情報共有後の早期対応に重点を置く。	B	B	不登校傾向になる生徒が増えている。組織的に丁寧な対応し続けているが、入学時から早い対応を実施していきたい。
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻をする生徒が、全校平均で1日あたり10名以下である。	学年や担任を通して家庭との連携を図りながら、自律的な生活習慣を導いていく。	A	A	根気強く継続的な指導を展開する。	B	A	全体的には良好だが、特定の生徒に欠席や遅刻が目立っている。教育相談的な対応を必要とする者にも配慮していきたい。
		② 学校全体で、挨拶運動や規律遵守に取り組んでいる。	学年や特活部と連携し、生徒職員が一体となって、自主的・自律的精神に基づいた活気のある学校作りを行う。	A	A	部活動指導と連携を図りながら低学年次指導を重視する。	B	A	規律遵守は良好で、場面ごとの指導の効果が出ている。挨拶を含めてさらに活気のある学校の雰囲気を作っていく。
8 いじめ防止等の対策が適切に講じられていますか。	① いじめの事実が隠蔽されず、実態把握やいじめに対する措置、また、いじめ防止等の対策を適切かつ組織的にを行い、いじめのない学校を目指す。	人権教育やいじめ防止への啓発活動に加え、いじめに関するアンケートを各学期に行い、実態把握から対応まで、計画的・組織的に行う。	A	A	小さな変化を見逃さず、声かけや面談を積極的に行い、生徒が相談しやすい雰囲気をつくる。	A	A	いじめが生じにくい学校環境作りのために自己有用感を育む体制ができている。アンケート等で得られたいじめに関する情報には、迅速に対応し大事に至っていないので、今後もこれを維持したい。	
IV 生徒の主体的な進路選択について、適切な指導をしていますか。	9 計画的な指導を行っていますか。	① 進路に関するLHRを各学年で年に10回以上実施している。	進路指導部が年度当初に3年間を見据えた指導計画の大枠を提示する。	A	A	生徒の状況を考慮しながら適宜改善していく。	A	A	当初の計画を実行できた。今後も各学年の実態に沿った内容を工夫していきたい。
		② 「前高ジャーナル」、「進路概況」や「進学の手引」を、80%以上の生徒が役に立つと認識している。	「前高ジャーナル」と「進路概況」の内容を生徒のニーズに合わせたものにする。	A	A	それぞれの発行物の趣旨を明確にし、内容の更なる充実を図る。	A	A	大学入試をとりまく状況や本校生の志望動向など、生徒や保護者のニーズに合った情報を提供していきたい。
	10 生徒は自らの進路希望について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 生徒のより高い進路目標の実現を目指し、生徒の大学合格率が80%以上、大学進学率が70%以上である。	充実した進路選択ができるよう適切な情報を提供する。	未	未	生徒が納得して志望校を選択できるように、さまざまな情報を提供していきたい。	A	A	志望校検討会等による教員間の情報共有とそれに基づいた個別指導をさらに充実させていきたい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	11 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	① 「前高web page」の内容を月2回更新し、学習・進路・部活動等各種情報を発信している。	各分掌・部活動等から情報を集めると共に、学校行事の様子など適切かつ効果的に情報を発信する。	B	B	現在の内容に加えて、学校行事の様子などをタイムリーに発信する。	B		学校行事などのタイムリーな情報発信に向けて各学年・分掌。係との連携の仕組み作りに取り組みたい。
	12 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年に2回以上実施している。	P T A・母の会等との連携を密にして、講師の選定を行う。また、P T A広報部による新聞作成を支援する。	A	A	母の会講演会では今年も職員との連携により卒業生を講師として招聘し実施された。	A	A	母の会主催行事やP T A広報による新聞作成は家庭と学校間の相互理解や情報共有に一役を担っており、更なる充実を期したい。
VI 学校における生徒の健康・安全に努めていますか。	13 生徒の安全意識向上の取り組みを行っていますか。	① 規範意識と危険回避能力を高める指導を行い、交通事故ゼロを目指して指導する。	交通法規やマナーの徹底に加え、余裕を持った早朝登校や、大通りを利用した通学など、事故に遭いにくい通学を促す。	B	B	危険箇所マップを有効に利用する。	B	B	事故件数はやや減少傾向。今後も事故ゼロを目指し、危険箇所マップ活用、時期をとらえた交通安全指導を行っていく。
	14 環境面で生徒の安全が確保されていますか。	① 毎月安全点検を実施する。また、年2回、防災避難訓練を行う。	簡易地震(防災)マニュアルを職員に周知し、災害発生時に全職員が適切な対応ができるようにする。	B	B	全職員への簡易マニュアルの周知徹底を進めている。発展型避難訓練計画を検討中。	A	A	防災避難訓練において、障害物への対応訓練を実施し、生徒は予想以上に適応できた。訓練内容をさらに改善したい。
	15 保健面で生徒の健康が確保されていますか。	① 健康面で安心感があると、80%以上の生徒が回答している。	保健委員会活動(保健便り、G Sメール等)により、感染症・健康に関する情報を発信する。	A	A	保健だよりを予定通り発行できた。安全が確保できているとの評価が96%であった。	A	A	保健だよりの発行、学校保健委員会開催を予定通り実施でき、安全が確保できているとの評価が96%であった。